



分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物の分別を徹底するとともに、適切な処理業者へ委託し、マニフェストを活用して厳格に管理・処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所はLED化と太陽光の設置、社用車をハイブリッド車へ都度変更するなど、CO <sub>2</sub> 削減に取り組んでいる。 ・CO <sub>2</sub> 排出量算定システムの炭削くんを活用し、エネルギー使用量の算定・削減に取り組んでいる。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・事務所はLED化と太陽光の設置、社用車をハイブリッド車へ都度変更するなど、CO <sub>2</sub> 削減に取り組んでいる。 ・CO <sub>2</sub> 排出量算定システムの炭削くんを活用し、自社の二酸化炭素の排出量を把握・削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・高森町商工会や建築組合でのゴミ拾いや清掃活動、道路の草刈りなどのボランティア活動を行い、生物多様性の保全に取り組んでいる。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・裏紙の活用を推進し、ペーパーレス化に積極的に取り組んでいる。 ・木材の切れ端は暖炉の薪として再利用し、木材チップは牛の飼育に活用した後、肥料として循環利用することで、資源の有効活用を実現している。										9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・雨水を防火用水として活用し、万が一に備えた水資源の有効活用を行っている。 ・節水に関する社内啓発としてチラシを作成し、社員一人ひとりの意識醸成に取り組んでいる。 ・節水型水栓の導入を通じて、日常業務における水資源の保全を実践している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事務用品や再生紙など、環境負荷の少ない製品の購入を推進している。 ・住宅建築においては、和紙型クロスなど、持続可能性に配慮した素材のご提案を通じて、お客様とともに環境にやさしい住まいづくりを実現している。										9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●			・現場および事務所において植栽を行い、緑の創出と継続的な保全管理に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●			・太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの活用を推進するとともに、自社のエネルギー使用状況を可視化し、効率的なエネルギー運用を行っている。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●			・社有林においては森林組合と連携し、『伐って、植えて、育てる』持続可能な森林資源循環の仕組みを構築している。 ・森林環境を維持するため、下草刈りなどの適切な管理を実施している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●			・森林組合と連携し、森林環境を育むため、計画的な植林活動に取り組んでいる。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			・ペットボトル等の廃棄物の分別を徹底することで、海洋ごみの発生を抑制し、海洋汚染の防止に貢献している。												12.2 12.5		14				
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			・現場への移動に際しては、乗り合わせを徹底し車両の使用を最小限に抑えることで、二酸化炭素排出量削減に貢献している。									9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2		

